

月刊

GPP



Vol.43

令和元年5月号

株式会社
グロースパートナーズ

日本はデフレだ

確かGW期間はもっと暑かったような気がする。何となく風がヒヤッとして感じているのは、私だけではないはずだ。

この4月から新在留資格が解禁された。突けば、というよりも突かなくてもいろいろな問題を含んでいる新制度だが、要すれば移民政策である。それを宣言しないから話が拗れる、典型的な“日本”である。先月号で少子高齢化対策として「所得アップ」をお伝えしたが、そこに加えるべきものが人口増、即ち移民の受け入れであろう。ただ、ここにも所得の壁が立ちほだかりそうだ。そうだ、日本での所得が外国からの労働者の欲求を満たすか、大きな疑問が残る。そして、雇用した側にも不満が残る結果になるように思える。

繰り返すが日本人の所得は低いのである。勘違いしてはいけない、間違いなく低いのだ。30年間も初任給が上がらない国など、この地球上に日本しかないはずだ。今回の新在留資格による外国人の受け入れだが、仮に最低賃金で雇用したとしても、そこに往復のチケット、管理会社への月々の手数料を足したうえで、あまり日本語が上手でない人たちを雇用するのだから、雇用側のコストは増える。決して高くない日本の賃金に満足しない労働者と、決して日本人よりも安くないコストの労働者を雇用する側とが、円満に職場を共有することが出来るであろうか？

話は飛ぶが、日本の物価は安いのだ。食事にしても、この品質で、衛生面含めたトータルのサービスで、これだけ美味しくて食事が頂ける国も恐らく日本だけであろう。

Executiveクラスとは言え、マレーシアや中国からの友人が、「本当に安い！しかし、こんなので経営は大丈夫なのか？なぜ、単価を上げないんだ？」と毎度来日の際は矢継ぎ早に質問される。

所得は上がり物価は下がる、「これってデフレか？」って間違いなくデフレだ。

マイナス金利だし、デフレだ。公表されてるGDPだってどうやら怪しいらしい、なおさらデフレだ。

巷では、食材関連が徐々に値上がりしている。良いことだ。所得だって、たっぷり内部留保のある大手企業から積極的に増やして貰いたい。仕入値だって適正に上昇させて貰いたい。これは、

「役員任期だけ穏便に済ませればよい」と考えるサラリーマン役員では英断は出来まい。

また、政治のサポートも不可欠だ。「2%のインフレ目標」は大いに結構。お札を刷るばかりではなくて、しっかり制度に落とし込んで貰いたいものだ。まずは、所得を2%上げてみようじゃないか。

移民だって全体の2%、約200万人を堂々と受け入れてみようではないか。

10年後、20年後、30年後の日本を思い描けば、直ぐにでも着手しなければいけない、政治としての本質課題であるはずだ。

藤井 成厚

セルドロン案件情報

■大手ゼネコン 残コン処理

今月も大手ゼネコンにセルドロンを採用いただきました。

従来の生コンクリートを板状に硬化させてからはつる作業を、セルドロンを利用した、硬化する前にパラパラするという、創意工夫提案として進めていただいております。

ポンプ圧送車のホッパーに余った生コンクリートは角スコップで数分攪拌していただきました。

ポンプ圧送車の洗いは、ハンドミキサーで数分攪拌していただきました。

セルドロンにより、従来の硬化後にはつる作業がなくなりますので、省人化され経済性の向上と工程の短縮が図れます。



■ため池の浚渫土処理

四国でセルドロンを販売していただいている東昇商事株式会社様にて、浚渫土処理のために現場へセルドロン(フレコンタイプ)を納品していただきました。

今回は、愛媛県今治市の公共工事です。従来のセメント系固化材は、pHの環境問題(強アルカリ)や、化学変化を伴う反応なので、浚渫土のように有機質の場合、期待されるほどの効果が出ない場合があります。

セルドロンは、自然由来のセルロースが主原料で、pHもほぼ中性域で、セルロースの吸水効果により、瞬時に浚渫土の流動性を低下させますので、工期短縮が図れます。施工状況は追って報告します。



○5kg 在庫限り

○10kg

○100kg 在庫限り

セルドロンラインナップ ○300kg
使用量によってサイズを選べます。

セルドロン問合せ案件

■大型農場施設・・・雪解けの農場で試験採用

■超高層ビル新築工事・・・大量の汚泥が発生。汚泥処理に紙系の改良材を使用？

その他ご不明な点がございましたらお気軽にご連絡ください。